

宮崎議員（自民議連）

令和4年2月24日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）高等学校入学者選抜の改善について

中学生やその保護者、さらには学校が混乱しないよう、公立高等学校の新たな入試制度の全体像を可能な限り早期に示すことが必要と考えるが、選抜日程や各学校の入学者選抜の実施内容についての検討状況と、それらをいつ頃示すのか、教育長に伺う。

また、自分で進路選択していくためには、中学生自身が複雑な制度や各学校の特色等を十分に理解することが不可欠だが、特に、どう工夫して取り組んでいくのか、併せて教育長に伺う。

（答）

高等学校の入学者選抜につきましては、これまで、選抜日程は毎年5月に、各学校の選抜の実施内容につきましては毎年8月に、公表してまいりました。

新たな選抜制度の実施初年度となる令和5年度入学者選抜におきましては、中学生への影響に鑑み、これを前倒しし、できる限り早期に公表してまいりたいと考えており、引き続き選抜日程や、各学校の特色等の実施内容について、市町教育委員会や中・高等学校長などの関係者と調整を進めてまいります。

次に、中学生の理解を深めるための取組につきましては、これまで、リーフレットや広報誌「くりっぷ」により新制度の内容について繰り返し周知をしてまいりました。

また、現場で指導を行う教員等の理解を深めるため、中学校・高等学校の管理職等に対する研修会で繰り返し説明してきたところでございます。

昨年11月には、新たに実施する「自己表現」を中心に、実施内容等につきまして、県内全ての国公私立の中学校の管理職等を対象に、説明会を実施してきたところであり、質疑応答も通じて、関係者の理解を深めてきたところでございます。

今後は、中学生自身の理解も、一層深めていくため、来月、司会者にラジオ等で中高生に知名度の高い大窪シゲキ氏を迎え、オンラインによる説明会を開催して、選抜制度について、中学生にわかりやすく説明し、直接、質問にもお答えしたいと考えております。

教育委員会といたしましては、選抜日程や各学校の実施内容等につつまし

て早期に決定・公表するとともに、中学生の主体的な学校選択を支援するため、引き続き、様々な機会を捉えて、中学生、保護者及び学校関係者に対し、制度の外、各学校の特色等を踏まえた実施内容についても説明するなど、丁寧に周知を図ってまいります。